

## 人間力

2020.4.20

明日から臨時休業となる。3月に次いで二度目である。2・3年生は、まだ9日間しか登校していない。1年生は、晴れて高等学校に入学したというのに、まだ8日間しか高校生活を送っていない。無念である。

ある程度は予想していた。最悪のシナリオの一つとして存在はしていた。しかし、福島市の感染状況と伊達市並びに伊達地区から感染者が出ていないことから、このまま何とか持ちこたえられないかと毎日毎日考えていた。そこに、意外な展開によりあっけなく臨時休業が決まってしまった。

わずか9日間だが、3年生の成長した姿を見ることができた。3年生としての“心意気”のようなものを感じた。2年生の明るさ、まとまりのよさを再確認することができた。1年生のまだ緊張が取れない中での初々しさから、高校生活への期待感を感じることができた。

どの学年も“これから”だった。17日間の休みは長い。普通の休みではない。不要不急の外出を避ける。家でも感染症対策を怠らないなど、気を配りながらの休みである。時間はあってもリラックスはできないかもしれない。

3年生は、進路のことが気にかかるだろう。自分ではどうにもできない。人が生きていく中では、自分の力では何ともしがたいことが起こるものである。こういうときにこそ「人間力」が試される。3年生は、今までどんなことを学んできただろうか。小学校や中学校で何を学んできたか。そして梁川高校の先生方から教わったことはどんなことか。お家の方から言われていることはないか。今一度振り返ってみよう。今、自分にできることは何か。今は何をすべきなのか。一度じっくりと考えてみよう。

今は、力を蓄えるときである。来たるべき活躍のときがやってくるまで、じっと堪え忍ぶのである。人間力をつけるときである。人間力に明確な定義はない。自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力とでも言うべきか。もっと簡単にすると、社会で生きていくための力である。

3年生にとっての人間力を少し具体的にしてみよう。自分の進路実現に向けての覚悟ができているか。芯の強さをもっているか。他者に対する優しさや慈しむ心をもっているか。自分で立てた目標や規律を守り通す強さをもっているか。今の自分はどうかであろう。

何もしなければ、17日間はあっという間である。だが、何かをしようとすれば、かなりのことができる期間でもある。学校にいれば、先生方がいろいろなことを教えてくれる。アドバイスがもらえる。ところが、家にいると、“先生”がいない。自分で自分をコントロールしなければならない。これは、かなり厳しいことである。自己管理、「言うは易く行うは難し」である。

時間の使い方が勝負である。タイムマネジメントができるかどうかである。これは、社会に出ても大事なことである。うまくいく日もあれば、うまくいかない日も出てくるだろう。うまくいかない日が続けないことである。意志の強さが必要となる。人間力の源は“強さ”である。強さを身につけたい。そして、17日の間、一日一日を振り返ったときに、「今日はこれをやった」というものを残していきたい。積み上げていきたい。それが“力”となる。学校再開の日、ぜひとも強さをまとった3年生を見てみたい。